

第 61 号

Super Highway

# 春闘速報 8

発行日  
2023. 3.12

J R 東労組バス関東本部

## なかまの声

55歳からの給与減額の廃止物価上昇分の補てん

子供にお金がかかる時に減額とか時代に合わない制度は早く見直して欲しいです。高速線の減収の際に貸切を積極的に受けるように、会社から指示がありましたが、その為の準備はなにをしてくれましたか？ただ貸切を高速車でやらせる。それで受けられるわけもないし会社のお客様に対するいい加減な姿勢には腹が立ちます。収入を上げるために貸切を受けると思うならそれなりの準備はして欲しい。

辞めて行った仲間が多い中、残った従業員に思いやりのある対応をしていただきたい

会社も大変だが コロナ感染の恐怖と戦いながら、又自身も感染し家族も同時に感染しながらも 単つき、黒字は凄いことです、世の中は賃金を大幅引き上げに、労働組合をとって、会社自身から率先して動いています。わが社も見習って貰いたい。一時金、夏、冬も。日々の奮闘ご苦労様です。

今後も黒字を継続し、雇用の安定を図る為にも定期昇給は大切である

ますます大手との格差が広がり残念ですが、会社にも組合にも期待していません。悲しいです

**「賃金」とは私たちにあって、どのようなものでしょうか。**

**賃金とは労働の対価なのではないでしょうか。**

労働とは労働力の実現結果です。その労働力を行うための力を労働力（労働能力）と言います。賃金とは、労働力の価値の価格的な表現です。労働力の価値は、それを生産するのに必要な社会的に平均化された労働の量によって決まります。そして、その労働力を維持するため、つまり私たちが明日も働くための生活費（衣・食・住）が必要です。また、次世代の労働者（家族・子供）を養っていかなくてはなりません。そのために必要な教育・養育費などが必要です。

**J R バス関東で働く仲間を一つに！**